

令和4年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪6355番地2
指定管理者	<p>名 称 NPO法人能島の里</p> <p>代表者 理事長 村上 利雄</p> <p>住 所 今治市宮窪町宮窪4703番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>総合政策部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価	市による評価
総則	B 施設の目的基本方針の確立をするため様々な事業を行った。(楽しく利用して頂くために適時清掃をした。公園に魅力を付けるために園内に多数の花を植えた。市場は時代に合った店舗にするため改修を行った。)	B 事業の履行は適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、積極的に業務に取り組んでいただきたい。
利用状況	C 上半期はコロナ感染対策への協力もあって積極的な活動はしなかったが、下半期は通常の活動を行った。残念なことに水道の漏水対策の後手の影響を受け、集客が思うように伸びなかった。昨年より人出は若干増えた。	C 新型コロナウイルス感染症の影響については、避けようのない事態である。そのため、施設を利用可能になった際、安心して施設が利用できるよう、運営に尽力いただきたい。
事業収支	B 全体の予算内で施設の管理を行い、観光地化を図るために、必要な費用は最小限で支出した。収入支出は適切に処理を行った。	B 収入、支出に関して適正に行われている。利用者減による利用料の減少を適切に把握し、滞りない団体の運営に努めていただきたい。
管理運営体制	B 月に一度定例作業日を設けている、この日は会員が集まって、主に清掃等の管理作業を実施した。日常的に行うべき作業はコロナ禍で最低人数で実施した。	B 限られた人員の中で、適正な管理運営ができるよう人員配置がなされている。人員が少ない中、お互いの情報や知識を共有し、また若いスタッフの力を最大限に発揮し、お互い助け合いながら施設運営に努めていただきたい。
管理運営業務	B 魅力ある施設を維持するため清掃・剪定等を積極的に行い、景観美化に務めた。トイレは分担し適時清掃した。主には土・日を実施し、目立つゴミは管理責任者等が適時行った。	B 集客力を上げるための美観上の工夫や清掃等適切な施設管理がなされている。テレビ番組やウェブメディアで紹介されることも見受けられるため、SNS等での積極的な発信につなげていただきたい。
利用業務	B ホームページやメディアを活用した広報活動、植栽管理等カレイ山展望公園内の美化などを、上半期はコロナ禍で自粛していたが、下半期は通常の活動を行い利用促進に努めた。	B 産学交えた展示に向けて取り組んでおり、これにより新たな客層の利用者を呼び込むことを可能としている。今後はSNSなども積極的に活用し、イメージアップに取り組んでいただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	B	その他業務に関しては、多くの方に来場してもらえよう、積極的に活動を行った。今後も事故・災害を想定し、的確な予防対策を講じたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的に行っていきたい。	B	利用者の事故予防に向けた取り組みに力を入れており、サービスの向上を図っている。近年のアウトドア需要の高まりを踏まえ、現地利用者のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んでいただきたい。
修繕業務	B	施設内美化を図るため日々の小さな修繕は警備の際に行った。梅雨時期に陥没した遊歩道や破損施設も職員で補修した。	B	修繕業務について円滑に行っている。今後も利用者の安全と美観の確保を図って頂き、将来を見据えた修繕も検討いただきたい。
備品管理業務	B	適切な備品管理を行い、不具合な備品は修繕しながら使用した。令和4年度は購入実績はなかった。	B	今後も適正な管理と効率的な更新を行っていただきたい。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	コロナ禍で下半期はコンテナと小屋で市場は自粛した。下半期は時代に合った活用としてホットドック等が販売できるよう施設を一部改装した。石の腰掛けは展望台に上がれない高齢者の方等多数利用して人気の場所である。また、カップルにも人気があって観光地化に大いに役立っている。	B	地元の特色を生かした施設を設置しており、特色のある場所の提供を行っている。申請手続き、運営面において適切な処理がなされており、利用者へのサービス向上が図られている。今後も継続して取り組んでいただきたい。
自主事業	A	週末に行っている市場は会員が高齢化で出店する農作物が不足することから、時代に合わせて若者がホットドック等の販売が出来るよう施設を一部改装した。ホットドック等ははまだ、試し売りなので収益を上げるほどではないが、具材等は地元業者の協力を得ていることから地域貢献になっていると思う。コロナの影響で当能島の里の目玉イベントのラテン観月会は中止したが、それに代わるイベントとして地域活性化協議会が実施した山頂星空シネマに協力し市民を楽しませた。コロナの収束ムードもあって、今後人出も増えて収益への期待が出来る。	A	物品販売によって観光客だけではなく、地元客に対する誘客も行っている。今後も施設のPRのため、新たなイベントの実施により利用客の誘致を図っていただきたい。
地域団体との連携	B	鵜島はカレイ山展望公園から見える瀬戸内の原風景が残る場所である。魅力アップのために今年も鵜島住民と一緒に清掃を行った。特産の大島石は愛媛大学の有志と連携を図って大島石近辺(四阪島)の調査協力をした(大島石の誕生解明につながる)。	B	カレイ山展望公園から臨む鵜島の魅力を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図っていただきたい。
利用者アンケート	C	市との協議により、コロナ禍でアンケートは見送った。	C	コロナの影響については避けようのない事態であるため、施設利用の再開の目処がたち次第、実施いただきたい。
事故・苦情	B	駐車場管理を適切に実施しており、事故については、発見・通報等はなかった。しかし設備については水道設備が老朽化で破損し、修繕場所を見つけて直したものの、その後も水道費が高くて運営に支障をきたしている。	B	水道の漏水等は発生したものの、その他施設を適切に管理して頂いた。緊急時の対応については出来る範囲で対応頂き、また未然に防ぐことが可能なものについては事前の修理等をお願いしたい。
指定管理者の 経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

総合コメント(市)

指定管理者は、条例等及び業務仕様書に基づき、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営を適正に実施していると評価できる。地域の活性化を図って他団体との連携も積極的に行い、ほしぞらシネマ等の新規イベントに協力しながら取り組んで頂いたが、新型コロナウイルスの影響は甚大であり、利用者の減少は致し方ないものであるといえる。一方、他者と距離をとりながら楽しむことの出来るキャンプの需要が高まっていることから、これについて積極的なPRを行い、これまでの取り組みを継続しつつ苦情やアンケート結果を分析しながら、利用者に対するより良いサービスの提供の環境を整えることを望む。また、産学連携を行った新たな展示等の準備など、現状維持にとどまらない姿勢が伺える。今後も新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図っていただきたい。